

平成30年度

## 豊明市児童館運営委員会 議事録

日時 平成30年7月6日(金)

午後1時30分～

場所 市役所東館 会議室6

### ※敬称略

出席委員：岸、松島、都築、長山、服部、坂田、折野、杉村

事務局：二宮（子育て支援課長）、樋口（指導保育士）、亀井（コスモス児童館長）、大石（児童担当係長）

- 1 挨拶 樋口指導保育士
- 2 委嘱状交付 委員9名に委嘱状交付
- 3 委員長選出 双峰小学校 岸校長を選出

### 4 議題

#### (1) 児童館指定管理の状況について

事務局より説明

質疑・意見等

(委員) 指定管理になる前と指定管理開始後の子ども達の変化や、担当者の変更等により変わった点を教えていただきたい。

(事務局) 指定管理に移行するにあたり、職員はそのまま引き継ぎ雇用したので、児童館利用者や保護者が困ったり不便になることはなかったと考えている。まず児童クラブを併設していない北部児童館と中央児童館が指定管理に移行し、その次の年に児童クラブを持っている館が指定管理になったが、職員もそのまま、館長も元々フルタイムのスタッフでステップアップされた方が就任されているので、豊明市の児童館が大事にしている健全育成の部分はそのまま継承されている。指定管理では、公立ではできない民間ならではの特色も出している。

(2) 平成29年度児童館運営報告について

(3) 平成30年度児童館活動計画について

事務局より説明

質疑・意見等

(委員) 児童クラブの利用者数が増えているようだが、一般の子達が来館しづらくなかったようなことはないか。児童クラブのための児童館、というような印象がある。

(事務局) 仕事をしている母親が多く、小学校1年生は早い時間で終わることも多いので、クラブの利用者が増えている。一般来館の児童については、4年生から部活が始まるのでなかなか来館できなくなるようだ。1年生は一般来館もかなり多く、母親が送迎してきたり、友達が児童クラブを利用しているという理由で来館する子が多い。夏休み等は利用者が多い。豊明市の児童館は児童クラブと一般来館の括りはなく、どこの部屋も行き来できるようになっており、スポーツ活動やなかよし会等の活動にも同じように参加できるので、一般来館の児童が来にくい雰囲気はないと思う。ただし、クラブの利用者が多いところについては、そのように思われる方もいると考えられる。

(委員) 児童クラブの利用者は1年生が多いのか。

(事務局) 1年生も多いが、今は4年生も5年生もいる。国の指針では対象が6年生までに拡大されている。1年生、2年生が比較的多く、3年生になると自分で遊びたい等の理由で途中退会する利用者もいる。各児童クラブで4年生もいる。

(委員) 定員がオーバーしているが、狭くはないか。

(事務局) それぞれのクラブで工夫をしている。広い児童館や館庭がある児童館もある。クラス制ではないので、全員が遊戯室にいる訳ではなく、図書室や集会室等で過ごす児童もおり、分散している。保護者の仕事が休みで毎日来ない児童もいるので、毎日全登録者が利用している訳ではない。なお、定員を超えていても児童クラブ入会を受け入れている。

(委員) 資料を見ると二村と北部児童クラブの定員が増えているが、

定員はどのように増やしたのか。

(事務局) 定員は元々部屋の面積で決まっている。児童一人当たり1.65㎡以上と決まっているが、職員の配置等を勘案して今までは余裕をもって設定していた。希望される方が多く、なるべく受け入れたいと考えている。ただし部屋や敷地の問題はある。学校では運動場や体育館をお借りしている。二村児童館では館庭を利用したり、北部児童クラブは体育館を利用したり、放課後子ども教室と合同で活動したりしている。

(委員) クラブの定員は登録者数で計算するのか。

(事務局) 登録数ではなく、定員は一日に利用する児童数である。コスモスを例に挙げると、登録者数は140名だが、毎日利用する訳ではなく、母親の仕事が休みの日や自宅に兄弟がいる時は利用しない児童もいるため、利用者が120名を下回ることもある。また、迎えの時間は親御さんの就労の時間に合わせているので、16時頃お迎えに来られる方もいる。

(委員) 双峰と唐竹が合併するが、クラブはどうなるか。

(事務局) 現在調整中で、未定です。

(委員) 児童クラブに申し込んでも入れないということはあるのか。

(事務局) 基本的にない。現在は定員を超過していても、両親が週4日4時間以上就労している場合には受け入れている。豊明市では親御さんが「安全・安心・働きやすい」子育て支援を目指している。

(委員) 地域活動クラブについては、児童館の利用者は働いている母親が多いと思うが、いつ実施されているのか。

(事務局) 平日の午前中に実施している。就労中の母親の参加は基本的に難しいが、子どもが小さいうちは仕事をしていない母親も多く、育休中・産休中の母親も参加している。

(委員) 若い世代の方がボランティアに参加されることや若い方の活動が少ないため、ぜひ継続していただきたい。

(委員) 職員の数はどのようになっているか。

(事務局) コスモス児童館を例に挙げると、正規の職員は館長と副

館長、臨時職員で児童厚生員がいる。児童クラブ指導員は支援員で、40名で2名配置するようにしている。勤務は週4日や週5日等、館によって異なる。児童館についても日中も必ず2名体制で、子どもたちが安心・安全に過ごせるようにしている。

(委員) 以前ひまわり児童館でボランティアをしたことがある。職員の人手が足りないということで夏休みやクリスマス会の準備の手伝い等をさせていただいていたが、今はどのような状況か。

(事務局) 今も無理のないお仕事をお願いしている。館長会で集まって考えているが、各館で少しやり方を変えるなどして工夫している。

(委員) ジュニアボランティアが少ないように思うが、ボランティアが増えれば先生方も助かるのではないか。

(事務局) 資料に掲載しているジュニアボランティアの人数は各館での登録者数ではなく、全館共通ボランティアの登録数。各館でもそれぞれ何人かボランティア登録がある。コスモスでは4年生等に夏祭りのお手伝いをお願いする等している。「どの児童館でもボランティアに行ける」という児童が減っている。ジュニアボランティアは元々、児童館に来館している居場所のない中学生に活動をお願いしたところから発足したもの。今は土曜日は長い時間習い事や塾、部活が入っている生徒も多く難しいのでは。人数は多くないものの、今後も継続していきたい。

(委員) 学校と連携して募集はしているのか。

(事務局) 張り紙をしており、館だよりも各小学校に掲示していただいている。先日西部児童館では、館だよりを見て草取りのボランティアに来たという栄小学校の生徒がいた。

#### (4) その他

(委員長) 施設の修繕や破損の際にはどのように対応しているのか。単独の児童館と校内にクラブがある場合とは異なるのか。

(事務局) 大きい修繕については、前年度に予算を確保している。放課後子ども教室と両方実施されている小学校については、緊急性のあるものをご相談いただき、どこの予算から捻出するかを子ども教室と話し合っている。今のところはないが、修繕工事の金

額が大きいと即時対応できない可能性もある。

(委員長) 異常時の対応について、暴風警報等の発令時にはどのように対応されているか。保護者に連絡しているのか。

(事務局) 判断基準は学校に合わせている。児童館にいる時に発令された場合には速やかに保護者に迎えに来ていただく。一回線のためこちらから一気に保護者に電話連絡することは難しいが、事前にわかっている場合は事前に保護者に伝えており、豊明市からもメールが入る。保護者が迎えに来るまで待機しており、ある程度したら電話している。毎年、大きな混乱はない。

(委員長) 児童クラブに登録されている児童は良いが、たまたま児童館に遊びに来ている児童がいたら、保護者に連絡しようがないのではないか。

(事務局) 今は自分で携帯電話を持っている児童も多い。学校がある日は、学校に連絡して学校の方から保護者に連絡してもらおうようにしている。

以上